

【施工監理はオリコンサルグローバル、清水JVが施工 マニラ首都圏地下鉄でシールドの発進式】

マニラ首都圏地下鉄でシールドの発進式  
施工監理はオリコンサルグローバル、清水JVが施工  
オリエンタルコンサルタンツグローバルは10日、施工監理を担当する「フィリピン国マニラ首都圏地下鉄工事」に伴うトンネルのシールド発進式が9日に現地で開催されたことを明らかにした。マルコス



スピーチする米澤社長（右）

大統領、パウティスタ運輸大臣ら同国要人が数多く出席し、同社の米澤栄二社長も参加した。

マニラ首都圏地下鉄は、深刻の度を増す交通混雑の緩和を目的に、日本政府のODA（政府開発援助）資金と無償資金協力によって実施される同国初の地下鉄。延長34kmのうち、先行して部分開業する6・9kmの区間に3駅舎と1車両基地、それらを結ぶ計6本（上下線各3本）総延長9・3kmのシールドトンネルを建設する。清水建設とフジタ、竹中土木、地元のEEI社のJVが施工し、2028年の開業を目指す。

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、日本企業6社からなるJVの代表企業として、事業の入札支援や施工監理などのコンサルタント業務を担当。今後も同国運輸省と緊密に連携し、安全・安心で効率的な工事の実施を強力に推進していくとしている。